

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人能代ふくし会 能代地域生活支援センター（児童発達支援）		公表日	令和7年3月14日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・活動内容によっては、広い部屋に変えて対応しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・利用人数や子どもの状態、活動等に合わせ職員を配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			・スヌーズレン室（場面の切り替え、パニック対応）のような場所があると良いと感じています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・毎日、清掃・消毒を実施しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・PDCAサイクルに努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・モニタリング以外にも、保護者の意向等を把握するように心がけております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・ミーティングや活動後の振り返り等で共有、検討を努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	・第三者による外部評価は行っていませんが、自己評価表結果を業務改善に繋げるため、職員間で検討しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・プログラムに組み込んだ内容は、職員間で共通認識が持てるよう再確認する機会を設けました。 ・感染症研修など、様々な事業所内研修に参加しております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・HPにて公表しています。保護者の皆様には支援プログラムを配布しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・アセスメントを大切にしております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・担当職員に子どもの様子を確認したり、実際に自分の目で見たことを、検討会議等で共有しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・職員に分かりやすく伝える努力をしております。 ・検討会議に職員が参加し、共有できております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・フォーマルアセスメントは限られているため、主にインフォーマルアセスメントを使用していますがアセスメントを大事しております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・重なる部分も含めて5領域で立案するよう努めております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・月ごとに内容を変え工夫しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・場合によっては、主治医の助言も聞きながら調整しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・前日に翌日の役割等について確認しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・活動報告だけでなく、改善点や良かった点等を次へ活かせるよう努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・子どもの様子や保護者の意見を取り入れながら見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			・常に相互理解に努めています。 ・事業所側から情報提供を求めたり、必要に応じて提供しております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3		・巡回相談を実施しており、その中で連携、助言をおたいただいております。また、可能な限り研修に参加しておりますが、もう少し連携や助言をいただく機会があれば良いと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		・機会がないので実施しておりません。また、子ども達はそれぞれ保育所や幼稚園で他児と一緒に活動していますし、限られた療育の時間では交流等難しいのではと感じております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			・保護者との対話を密にしております。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			・困りごとへの助言や相談援助は日々行っておりますが、ペアレント・トレーニングは実施しておりません。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			・新規契約時に説明し、変更があった際には都度、説明と同意を得ています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			・発達状態と保護者の意向を含め、どういった方向に向かっていくのか話をしております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			・児童発達支援管理責任者が丁寧に説明し、同意を得てからサービスを提供しております。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・家族から求められた時だけでなく、その時の状態を見て相談援助を実施しております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	・父母の会は設けていませんが、保護者学習会を開催しております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・相談の申入れがあった際は、すぐに対応できるよう努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・会報を発行しております。また、玄関にホールに子ども達の作品や活動の様子の写真を掲示しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・ことばだけでなく、ノンバーバルコミュニケーションや絵・文字カード等、その子に合わせて対応しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		・施設の祭りや大人食堂開催時は地域の方を招待しております。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・各マニュアルを玄関に設置し、自由に閲覧できるように対応しております。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・定期的に訓練・研修を実施しております。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・医療ケアが必要な子、てんかんを持っている子は緊急時の対応を保護者と共有しております。	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・基本的には食事の提供はしていませんが、食べる機会がある際は、確認しております。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・ヒヤリハットを活用しております。 ・安全計画を作成し、毎月事業所点検を実施しております。	
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・毎月チェックリストで日々の支援の振り替えをしております。また、年1回研修も行っております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・職員間で検討してから保護者へ伝えるようにしております。		